

簿記三級講座

第2回

「為替手形」

新居 やすひさ

School
market

1. 手形とは

一定金額の支払いを**約束**、又は**委託**する有価証券をいう。



手形は主に商品取引で扱うが、**決済期日が決まっております**、**代金決済が確実なところ**が特徴である。

受取手形 = 商品代金請求権 → ケンリ → 資産

支払手形 = 商品代金支払義務 → ギム → 負債

2. 約束手形と為替手形

約束手形 ⇒ 2社（者）間の取引（振出人と受取人）

為替手形 ⇒ 原則、3社（者）間（振出人、受取人、**名宛人**）

為替手形とは、「自分（振出人）の代わりに、手形に記載された人（受取人）へ、手形金額を払うように、知り合い（名宛人）に依頼する証券」をいう。

3. 為替手形の取引関係と例題

為 替 手 形

収 入
印 紙

支払人 (引受人名)
大阪商店 殿

金額
¥ 1,000※

(受取人) 福岡商店 殿へこの為替手形と引き換えに
上記金額をお支払いください。

平成 X 年 X 月 X 日
振出地 ○○○○○○
住所 東京商店
振出人 東京 一郎

支払期日 平成 X 年 X 月 X 日

支払地 XXX

支払場所 △△△銀行

引受 平成 X 年 X 月 X 日

大阪府○○市○○町○○
大阪商店
大阪 二郎

- 振出人 ⇒ 為替手形を作成(振出)した人 = 東京商店
- 引受人(名宛人) ⇒ 代金の支払いを引き受けた人 = 大阪商店
- 受取人(指図人) ⇒ 為替手形の代金を受け取る人 = 福岡商店

三者（振出人、受取人、引受人）の相関図

